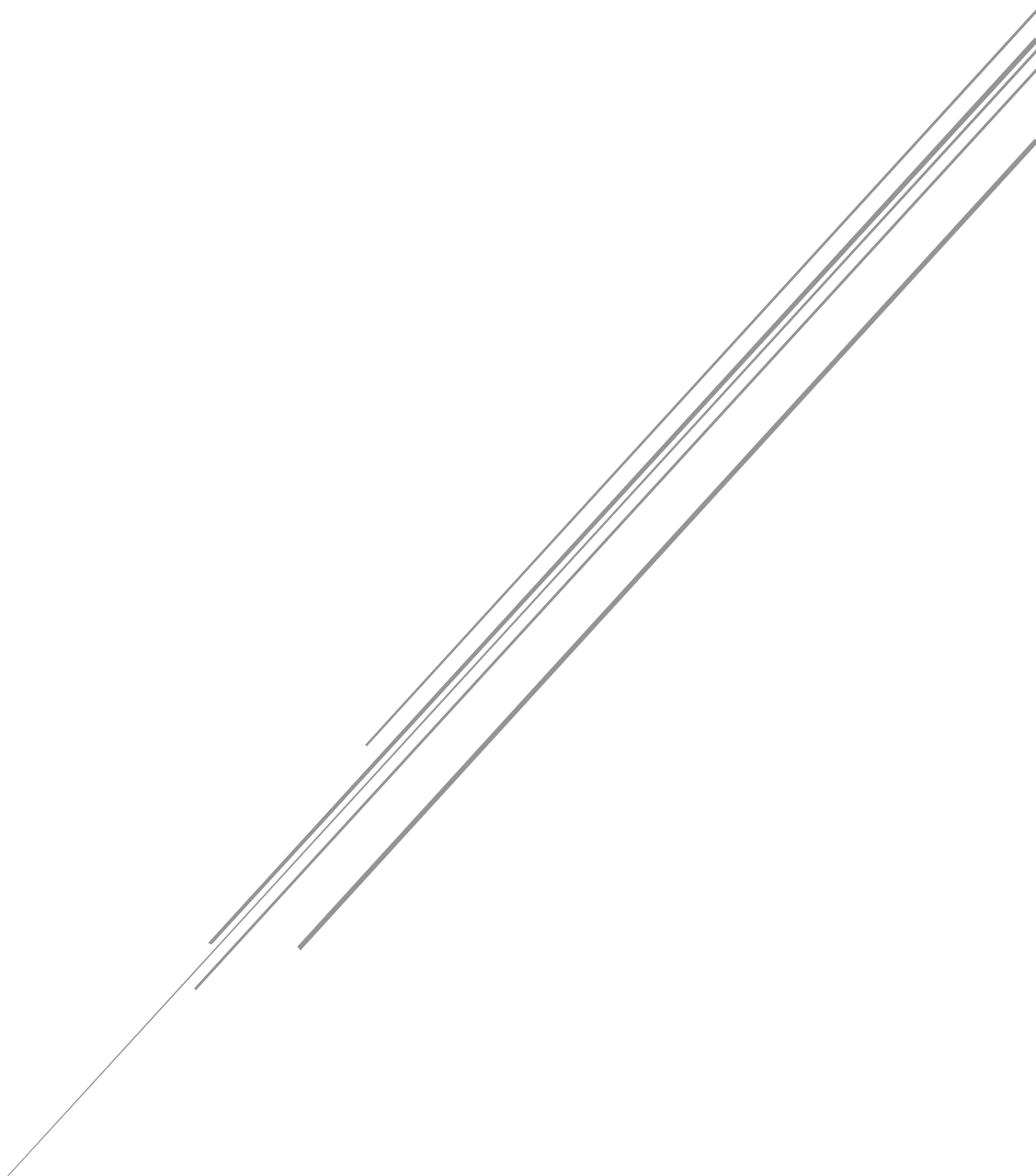


2020年（令和3年度）

千葉県・千葉市教員採用試験

教職教養の問題



(午前問題)

問1 「小学校学習指導要領」の「第1章 第1 小学校教育の基本と教育課程の役割」に関する内容として、適当でないものを選びなさい。

- ① 児童の人間として調和のとれた育成を目指し、児童の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成すること。
- ② 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むこと。
- ③ 道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めること。
- ④ 道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、事故の生き方を考え、自立した人間として自己の人生をよりよく生きるために基盤となる道徳性を養うことを目標とすること。
- ⑤ 学校における体育・健康に関する指導を児童の発達の段階を考慮して、学校の香養育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。

問2 次の文章は、「中学校学習指導要領」の「第1章 第5 1 教育課程の改善と学校評価、教育課程外の活動と連携等」の一部である。文章中の(a)～(c)に当てはまる語句の組み合わせとして、最も適当なものを選びなさい。

各学校においては、(a)の方針の下に、公務分掌に基づき教職員が適切に役割を分担しつつ、相互に連携しながら、各学校の特色を生かした(b)を行うよう努めるものとする。また、各学校が行う(c)については、教育課程の編成、実施、改善が教育活動や学校運営の中核になることを踏まえ、(b)と関連付けしながら実施するような留意するものとする。

- ① a 校長 b カリキュラム・マネジメント c 学校評価
- ② a 教育委員会 b 組織マネジメント c 外部評価
- ③ a 文部科学省 b PDCAサイクル c 学校評価
- ④ a 教育委員会 b カリキュラム・マネジメント c 外部評価
- ⑤ a 校長 b PDCAサイクル c 学校評価

問3 次の文は、「高等学校学習指導要領」の「第1章 第5 1 生徒の発達を支える指導の充実」の一部である。文章中の(a)～(c)に当てはまる語句の組み合わせとして、最も適当なものを選びなさい。

生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・(a)的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、(b)活動を要しつつ各教科・科目等の特質に応じて、(c)教育の充実を図ること

- | | | | |
|---|------|----------|--------|
| ① | a 経済 | b 学級 | c キャリア |
| ② | a 職業 | b ホームルーム | c 社会 |
| ③ | a 職業 | b 特別 | c キャリア |
| ④ | a 職業 | b 学級 | c 社会 |
| ⑤ | a 経済 | b 特別 | c 主権者 |

問4 「小学校学習指導要領解説 総則編」の「第3章 第4節 2 (1) 障害のある児童などへの指導」に関する内容として、最も適切なものを選びなさい。

- ① 障害のある児童などについては、必ず医師の指導助言に従って、個々の児童の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うものとする。
- ② 自立活動の内容は、各教科等のように六つの区分の下に27項目について、その全ての項目を計画的に実施しなければならない。
- ③ 通級による指導の対象となる者は、言語障害者、自閉症者、情緒障害者、弱視者、難聴者、学習障害者、注意欠陥多動性障害者、肢体不自由者、病弱者及び身体虚弱者であり、さらに特別支援学級の児童も含む。
- ④ 個別の支援計画のうち、幼児児童生徒に対して、教育機関が中心となって作成するものを、個別の指導計画という。
- ⑤ 特別支援学級について、特別教育課程を編成する場合であって、文部科学大臣の検定を経た教科用図書を使用することが適当でない場合には、当該特別支援学級を置く学校の設置者の定めるところにより、他の適切な教科用図書を使用することができるようになっている。

問5 「地方公務員法」の「第6節 服務」に関する内容として、適当でないものを選びなさい。

- ① 職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その勤務時間及び職務上の注意力のすべてをその職責遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。
- ② 職員は、任命権者の許可を受けなければ、(略)営利を目的とする私企業(略)を営むことを目的とする会社その他の団体の役員その他人事委員会規制(略)で定める地位を兼ね、若しくは自ら営利企業を営み、又は報酬を得ていかなる事業若しくは事務にも従事してはならない。
- ③ すべて職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当つては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。
- ④ 職員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後は、その限りではない。
- ⑤ 職員は、その職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

問 6 次の条文は、「児童虐待の防止等に関する法律」(令和 2 年 4 月施行)の一部である。

条文 の(a)~(c)にあてはまる語句として、最も適切なものを選びなさい。

第 5 条 学校、児童福祉施設、病院、都道府県警察、婦人相談所、教育委員会、配偶者暴力相談支援センターその他児童の福祉に業務上関係のある団体及び学校の教職員、児童養護施設の職員、医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、弁護士、警察官、婦人相談員その他児童の福祉に職務上関係のある者は、児童虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、児童虐待の(a)に努めなければならない。

第 6 条 児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する(b)若しくは児童相談所又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する(b)若しくは児童相談所に(c)しなければならない。

- | | | | |
|---|--------|---------|------|
| ① | a 早期発見 | b 福祉事務所 | c 通告 |
| ② | a 根絶 | b 警察署 | c 通告 |
| ③ | a 早期発見 | b 警察署 | c 通報 |
| ④ | a 把握 | b 福祉事務所 | c 連絡 |
| ⑤ | a 根絶 | b 警察署 | c 連絡 |

問 7 「教育基本法 第 2 条」の「教育の目標」に関する内容として、最も適当なものを選びなさい。

- ① 全ての児童生徒が豊かな学校生活を送り、安心して教育を受けられるよう、学校における環境の確保が図られるようにすること。
- ② 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。
- ③ 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。
- ④ よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- ⑤ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

問8 次の条文は、「学校教育法」の一部である。条文の(a)～(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

第11条 (a)は教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に(b)を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。

第30条の② (略)生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な(c)その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に用いなければならない。

- | | | | |
|---|----------|------|----------------|
| ① | a 校長 | b 懲罰 | c 思考力、判断力、表現力 |
| ② | a 校長及び教員 | b 懲戒 | c 学びに向かう態度・人間性 |
| ③ | a 校長及び教員 | b 懲戒 | c 思考力、判断力、表現力 |
| ④ | a 校長 | b 懲戒 | c 問題解決力 |
| ⑤ | a 教職員 | b 懲罰 | c 問題解決力 |

問9 次の文章は、「千葉県・千葉市教員等育成指標(リーフレット)」(平成30年3月 千葉県教育委員会)の「学習指導に関する実践的指導力とは？」に関するものである。文章中の(a)～(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

教科等についての専門性をもつとともに、幼児児童生徒の実態に合った授業実践力や技術指導を身に付け、「(a)」の実現に向けた(b)に取り組む能力が求められています。また、(c)を必要とする幼児児童生徒について、その状況を把握し、家庭や関係機関と連携して学習上の支援をすることが必要となります。

- | | | | |
|---|----------------|--------|---------|
| ① | a 社会に開かれた教育課程 | b 意識改革 | c 個別の支援 |
| ② | a 主体的・対話的で深い学び | b 授業改善 | c 特別な支援 |
| ③ | a 社会に開かれた教育課程 | b 教材研究 | c 個別の支援 |
| ④ | a 主体的・対話的で深い学び | b 授業改善 | c 教育的配慮 |
| ⑤ | a アクティブ・ラーニング | b 教材研究 | c 特別な支援 |

問 10 「第 3 期千葉県教育振興基本計画 次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」(令和 2 年 2 月 千葉県/千葉県教育委員会)の「第 3 章 2 今後 5 年間に実施する施策と主な取組 基本目標 1～4」として、**適切でないもの**を選びなさい。

- ① ちばの教育の力で、志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供を育てる。
- ② ちばの教育の力で、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる。
- ③ ちばの教育の力で、「自信」と「安心」を育む学校をつくる
- ④ ちばの教育の力で、家庭と地域の絆を深め、全ての人が活躍できる環境を整える。
- ⑤ ちばの教育の力で、世界を舞台に活躍する人材を育成し、「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る

問 11 次の文章は、「第 3 期千葉県教育振興基本計画 次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」(令和 2 年 2 月 千葉県/千葉県教育委員会)の「第 3 章 2 施策 8 家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の促進」の一部である。文章中の (a)～(c) にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

- ・(a) (コミュニティ・スクール) の導入の拡充と運営の充実を図り、保護者や地域住民が学校運営に参画した「地域とともにある学校づくり」を推進します。
- ・(b) を活用した弁護士相談、研修等を充実させ、教職員が不当な圧力に毅然と対応できる体制の構築を図ります。
- ・いじめや児童虐待、子育ての不安など、子供に関わる様々な相談に応じるため、「子ども・家庭 110 番」を (c) に設置し、専門の電話相談員が夜間、土日、祝日の相談に応じるなど、相談機能の充実を図ります。

- ① a 学校運営協議会制度 b スクールロイヤー c 中央児童相談所
- ② a 学校評議員制度 b スクールロイヤー c 千葉県警本部
- ③ a 地域学校協働本部 b スクールソーシャルワーカー c 各公立学校
- ④ a 学校運営協議会制度 b スクールカウンセラー c 各公立学校
- ⑤ a 学校評議員制度 b スクールソーシャルワーカー c 中央児童相談所

問 12 次は、「第2次千葉市学校教育推進計画」（平成28年3月 千葉県／千葉県教育委員会）の「第1章 第2次千葉市学校教育推進計画 各論 1～7」に関するものである。次の（a）～（c）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

- 1 確かな学力を育てる
- 2 豊かな（a）を育てる
- 3 健やかな体を育てる
- 4 子どもの学びを支える環境を整える
- 5 信頼される（b）が子どもと向き合う環境を整える
- 6 多様な（c）支援の充実を図る
- 7 地域社会全体で子どもの成長を支える

- ① a 感性 b 教職員 c 教育的
- ② a 人間性 b 学校 c 物的
- ③ a 道徳性 b 学校 c 人的
- ④ a 道徳性 b 学級担任 c 物的
- ⑤ a 人間性 b 教職員 c 教育的

問 13 「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」（平成29年3月 文部科学省）に関する内容として、最も適当なものを選びなさい。

- ① いじめの重大事態の定義は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じたことが断定されたとき」とされている。
- ② 被害児童生徒・保護者が詳細な調査や事案の公表を望まない場合、学校の設置者及び学校は、自らの対応を振り返ったり、検証したりする必要はない。
- ③ 不登校重大事態の定義は、欠席日数が年間15日であることを目安としている。
- ④ 事案発生後、詳細な調査を実施するまでもなく、学校の設置者・学校の不適切な対応により被害児童生徒や保護者を深く傷つける結果となったことが明らかな場合でも、学校の設置者・学校は、正確かつ詳細な調査結果が出るまでは、対応の不備の説明や謝罪等を行うべきではない。
- ⑤ 学校は、重大事態が発生した場合（いじめにより重大な被害が生じた疑いがあると認められるとき。）、速やかに学校の設置者を通じて、地方公共団体の長等まで重大事態が発生した旨を報告する義務が法律上定められている。

問 14 「学校給食における食物アレルギー対応指針」(平成 27 年 3 月 文部科学省)の「学校給食における食物アレルギー対応の大原則」に関する内容として、最も適当なものを選びなさい。

- ① 安全性を優先とし、食物アレルギーを有する児童生徒には給食を提供しない。
- ② 「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」に基づき、養護教諭の診断による「学校生活管理指導表」の提出を必須とする。
- ③ 安全性確保のため、原因食物の完全除去対応(提供するかしないか)を原則とする。
- ④ 学校及び調理場の施設設備、人員等と連携協力を整え、個々にきめ細かい対応を行う。
- ⑤ 学年主任は食物アレルギー対応について一定の方針を示すとともに、担当学年の各学級の取組を支援する。

問 15 次の文は、「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン 別添 1 」(平成 31 年 1 月 文部科学省)の「1. 趣旨」に関するものである。文中の (a) ~ (c) にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

教師の業務負担の軽減を図り、限られた時間の中で、教師の専門性を生かしつつ、(a) のための時間や児童生徒等に接する時間を十分確保し、教師が我が国の学校教育の蓄積と向かい合っ自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、教師の (b) を高め、児童生徒等に対して効果的な教育活動を (c) に行うことをできる状況を作り出す。

- ① a 授業改善 b 人間性や創造性 c 持続的
- ② a 授業改善 b 使命感と職業意識 c 効率的
- ③ a 研究と修養 b 人間性や創造性 c 情熱的
- ④ a 研究と修養 b 勤労意欲と責任感 c 独創的
- ⑤ a 人打合せと会議 b 使命感と職業意識 c 計画的

問 16 「外国人児童生徒受入れの手引 改訂版」(2019年3月 文部科学省)の「第1章 外国人児童生徒等の多様性への対応」に関する内容として、**適当でないもの**を選びなさい。

- ① 日本の学校に在籍する外国人児童生徒のすべてが、日本の学校に就学するに当たって日本語や学校文化の違いに対して特別な配慮を必要とするわけではない。
- ② 在留外国人の国籍・地域の多様化が進んでいるように、日本語指導が必要な児童生徒の多言語化も進行している。
- ③ 保護者等が児童生徒の学習の遅れに対する不安から進級時の補充指導や進級や卒業の保留を希望する場合、補充指導等の実施に関して柔軟に対応するとともに、校長の責任において進級や卒業を保留するなど、適切に対応する必要がある。
- ④ 外国人児童生徒の場合も日本人児童生徒と同様に就学義務があるが、近年、不就学という問題が生じやすくなってきている。
- ⑤ 平成26年の制度改正により、外国人児童生徒等が在籍する学校において「特別の教育課程」を編成・実施することが可能となった。

問 17 次の文章は、「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（平成30年4月 文部科学省）の「第4章 V 子供の読書への関心を高める取組」に関するものである。文章中の（a）～（c）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

- ・「読書会」とは、数人で集まり、本の感想を話し合う活動である。
- ・「ペア読書」とは、二人で読書を行うものであり、家族や他の学年、クラス等様々な単位で一冊の本を読み、感想や意見を交わす活動である。
- ・「(a)」とは、発表者が読んで面白いと思った本を一人5分程度で紹介し、その発表に関する意見交換を2～3分程度行い、全ての発表が終了した後に、どの本が一番読みたくなったかを参加者の多数決で選ぶ活動である。
- ・「(b)」とは、語り手が昔話や創作された物語を全て覚えて自分の言葉で語り聞かせ、聞き手がそれを聞いて想像を膨らませる活動である。
- ・「(c)」とは、相手に本への興味が湧くような工夫を凝らしながら、あるテーマに沿って関連付けて、複数の本を紹介することである。

- | | a | b | c |
|---|-------------------|-------------------|------------|
| ① | 書評合戦
(ビブリオバトル) | お話
(ストーリーテリング) | リテラチャーサークル |
| ② | ディベート | クリティカルリーディング | 読書コンシェルジュ |
| ③ | ディベート | アニメーション | リテラチャーサークル |
| ④ | 書評合戦
(ビブリオバトル) | お話
(ストーリーテリング) | ブックトーク |
| ⑤ | グループエンカウンター | アニメーション | ブックトーク |

問 18 「教育の情報化に関する手引」(令和元年 1 2 月 文部科学省)に関する内容として、**適当でないもの**を選びなさい。

- ① 「教育の情報化」とは、情報通信技術の、時間的・空間的制約を超える、双方向性を有する、カスタマイズを容易にするといった特徴を生かして、教育の質の向上を目指すものである。
- ② 「教育の情報化」は、情報教育、教科指導における I C T 活用、校務の情報化の 3 つの側面から構成されている。
- ③ 今回改訂された学習指導要領においては、前回同様「情報活用能力」を学習の基盤となる資質・能力と位置付け、教科等横断的にその育成を図ることとした。
- ④ 「情報活用能力」は、世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力である。
- ⑤ 小学校及び特別支援学校小学部の学習指導要領において I C T の基本的な操作を習得するための学習活動及びプログラミング教育を各教科の特質に応じて計画的に実施することとされた。

問 19 「A I」(人工知能)を英語で略さずに表記したものとして、最も適当なものを選びなさい。

- ① Automatic Idea
- ② Artificial Intelligence
- ③ Advanced Intelligence
- ④ Automatic Item
- ⑤ Artificial Idea

問 20 次の四字熟語の (a) ~ (d) にあてはまる漢字の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

・純 (a) 無垢 ・品 (b) 方正 ・厚顔無 (c) ・(d) 先垂範

- ① a 心 b 行 c 智 d 率
- ② a 信 b 向 c 知 d 率
- ③ a 真 b 行 c 恥 d 率
- ④ a 心 b 向 c 知 d 卒
- ⑤ a 真 b 好 c 恥 d 卒

(午後問題)

問1 次の文章は、「小学校学習指導要領」の「第1章 第3 2 学習評価の充実」の一部である。文章中の(a)～(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

児童のよい点や(a)などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、(b)や成果を評価し、(c)や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。

- | | | | |
|---|---------|-----------|---------------|
| ① | a 課題 | b 学習の過程 | c 知識・技能の定着 |
| ② | a 改善点 | b 学習への意欲 | c 知識・技能の定着 |
| ③ | a 進歩の状況 | b 学習の過程 | c 指導の改善 |
| ④ | a 課題 | b 学習の振り返り | c 指導の改善 |
| ⑤ | a 進歩の状況 | b 学習への意欲 | c 思考力・表現力・判断力 |

問2 「中学校学習指導要領」の「第1章 第2 3 教育課程の編成における共通的事項」に関する内容として、適当でないものを選びなさい。

- ① 各教科等の授業は、年間35週以上にわたって行うよう計画し、週当たりの授業時数が生徒の負担過重にならないようにするものとする。ただし、各教科等や学習活動の特質に応じ効果的な場合には、夏季、冬季、学年末等の休業日の期間に授業日を設定する場合を含め、それらの授業を特定の期間に行うことができる。
- ② 特別活動の授業のうち、生徒会活動及び学校行事については、それらの内容に応じ、年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時間数を充てるものとする。
- ③ 各教科等のそれぞれの授業の1単位時間は、各学校において、各教科等の年間授業時数を確保しつつ、生徒の発達段階及び各教科等や学習活動の特質を考慮して適切に定める。
- ④ 教科等を担当する教師が、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した中で、その指導内容の決定や指導の成果の把握と活用等を責任をもって行う体制が整備されていても、10分から15分程度の短い時間を、当該教科等の年間授業時数に含めることはできない。
- ⑤ 総合的な学習の時間における学習活動により、特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間における学習活動をもって相当する特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施に替えることができる。

問3 次の文は、「高等学校学習指導要領」の「第1章 第1款 高等学校教育の基本と教育課程の役割」の一部である。文中の(a)～(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

基礎的・基本的な(a)を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、(b)に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との(c)を促す教育の充実に努めること。

- | | | | |
|---|----------|-------|------|
| ① | a 知識 | b 自主的 | c 協働 |
| ② | a 知識及び技能 | b 主体的 | c 協働 |
| ③ | a 知識 | b 積極的 | c 協力 |
| ④ | a 知識及び技能 | b 主体的 | c 連携 |
| ⑤ | a 技能 | b 自主的 | c 協力 |

問4 「特別支援教育学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚部・小学部・中学部)」の「第3編 第2章 第6節 特別支援教育に関するセンターとしての役割」に関する内容として、最も適当なものを選びなさい。

- ① 特別支援学校は、地域の小・中学校等に在籍する障害のある児童生徒や担当教諭等への支援を行うものであり、義務教育ではない幼稚園、認定こども園、保育所、高等学校等への支援は行うことができない。
- ② 特別支援学校が行う小・中学校等への具体的な支援の活動内容としては、例えば、自立活動の指導に関する支援、授業に集中しにくい児童の生徒の理解や対応に関する具体的な支援等が考えられる。しかし、個人商法保護の観点から、個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成する際の支援は行うことができない。
- ③ 特別支援教育に関するセンター的機能に関しては、平成17年12月の中央教育審議会答申において、特別支援教育等に関する相談・情報提供機能、障害のある幼児児童生徒への指導・支援機能等について示されているが、小・中学校等の教師に対する研修協力機能は指導主事等の業務であることからセンター的機能として示されていない。
- ④ 特別支援学校の小・中学校等に対する具体的な支援の活動内容は、児童生徒及び教師のみに対する助言や援助であり、保護者に対しての情報提供や教育相談等は小・中学校等が自校で行うものである。
- ⑤ 中央教育審議会答申においては、特別支援学校における特別支援教育コーディネーターは、校内における取組だけではなく、例えば、小学校や中学校等に在籍する児童生徒に対する巡回による指導を行ったり、特別支援学校の教師の専門性を活用しながら教育相談を行ったりするなど、域内の教育資源の組合せの中で、コーディネーターとしての機能を発揮していくことが求められるとしている。

問5 次の条文は、「学校教育法」と「学校教育法施行規則」の一部である。条文の(a)～(c)に当てはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

【学校教育法】

第11条 校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、(a)の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、(b)を加えることができない。

【学校教育法施行規則】

第26条 校長及び教員が児童等に懲戒を加えるに当つては、児童等の(c)に応ずる等教育上必要な配慮をしなければならない。

- | | | | |
|---|----------|---------|---------|
| ① | a 首長 | b 精神的苦痛 | c 実態 |
| ② | a 教育委員会 | b 体罰 | c 精神の状態 |
| ③ | a 教育委員会 | b 身体的苦痛 | c 心身の発達 |
| ④ | a 首長 | b 身体的苦痛 | c 精神の状態 |
| ⑤ | a 文部科学大臣 | b 体罰 | c 心身の発達 |

問6 「学習者用デジタル教科書の制度化に関する法令の概要」(平成31年4月 文部科学省)の「3. 学校教育法第34条第2項に規定する教材の使用について定める件」に関する内容として適当でないものを選びなさい。

- ① 紙の教科書に代えて学習者用デジタル教科書を使用する授業は、各教科等の授業時間の3分の2に満たないこと。
- ② 児童生徒がそれぞれ紙の教科書を使用できるようにしておくこと。
- ③ 児童生徒がそれぞれのコンピュータにおいて学習者用デジタル教科書を使用すること。
- ④ 採光・照明等に関し児童生徒の健康保護の観点から適切な配慮がなされていること。
- ⑤ コンピュータ等の故障により学習に支障が生じないよう適切な配慮がなされていること。

問7 次の条文は、「いじめ防止対策推進法」の一部である。条文の (a) ~ (c) にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

第2条 この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍している学校に在籍している等当該児童等と一定の (a) にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が (b) を感じているものをいう。

第15条 学校の設置者及びその設置する学校は、児童等の豊かな情操と道徳心を培い、心の通う対人交流の能力の素地を養うことがいじめの防止に資することを踏まえ、全ての教育活動に通じた道徳教育及び (c) 等の充実を図らなければならない。

- ① a 人的関係 b 心身の苦痛 c 体験活動
- ② a 人間関係 b 精神的苦痛 c 奉仕活動
- ③ a 人的関係 b 心身の苦痛 c 特別活動
- ④ a 人間関係 b 不安や痛み c 体験活動
- ⑤ a 人的関係 b 不安や痛み c 特別活動

問8 次の条文は、「学校教育法施行規則」の一部である。条文の (a) ~ (c) にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

第134条の二 校長は、特別支援学校に在籍する児童等について (a) (学校と医療、保健、福祉、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体 (略) との連携の下に行う当該児童等に対する (b) な支援に関する計画をいう。) を作成しなければならない。

2 校長は、前項の規定により (a) を作成するに当たっては、当該児童又はその保護者の (c) を踏まえつつ、あらかじめ、関係機関等と当該児童等の支援に関する必要な情報の共有を図らなければならない。

- ① a 個別の指導計画 b 総括的 c 家庭環境
- ② a 個別の教育支援計画 b 包括的 c 意向
- ③ a 個別の教育支援計画 b 長期的 c 意向
- ④ a 個別の支援計画 b 包括的 c 家庭環境
- ⑤ a 個別の指導計画 b 長期的 c 意向

問9 次の文章は、「千葉県・千葉市教員等育成指標（リーフレット）」（平成30年3月 千葉県教育委員会）の「生徒指導等に関する実践的指導力とは？」に関するものである。文章中の（a）～（c）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

幼児児童生徒の心身の発達の特徴、特別な支援を必要とする幼児等も含めた個々の状況を把握、理解するとともに、（a）を構築し、学級運営、個別の指導、（b）等を適切に行う力が求められています。また、生徒指導上の課題等に対しては、（c）に対応し、家庭・地域・関係機関等との連携を図ることが必要となります。

- ① a 信頼関係 b 進路指導 c 共感的
- ② a 人間関係 b 進路指導 c 客観的
- ③ a 信頼関係 b 人権教育 c 情熱的
- ④ a 人間関係 b 教育相談 c 共感的
- ⑤ a 協力関係 b 人権教育 c 客観的

問10 「第3期千葉県教育振興基本計画 次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」（令和2年2月 千葉県／千葉県教育委員会）の「第2章 4 基本目標2」の10年後の「学校の目指す姿」に関する内容として、適当でないものを選びなさい。

- ① 子供たちの安全が守られ、安心して学校に通うことができる環境が整っている。
- ② 社会の変化に対応できる確かな学力と、将来への夢や希望を持って歩いていく姿勢が育まれている。
- ③ 子供たちへの愛情と情熱にあふれた質の高い教員の育成が進められている。
- ④ ニートやひきこもり、不登校だった子供たちや若者たちが、生き生きと勉強や仕事に取り組んでいる。
- ⑤ 子供たちが生まれてきてよかったと思える自己肯定感にあふれている。

問 11 次は、「第 3 期千葉県教育振興基本計画 次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」
(令和 2 年 2 月 千葉県／千葉県教育委員会) の「第 3 章 2 基本目標 1」の施策に関するものである。次の (a) ～ (c) にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

- 【施策 1】 人生を主体的に切り拓くための学びの確立
【施策 2】 (a) 性を高める心の教育の推進
【施策 3】 生涯をたくましく生きるための (b) の推進
【施策 4】 共生社会の形成に向けた (c) 教育の推進

- ① a 倫理 b コミュニケーション能力育成 c 主権者
- ② a 道徳 b 健康・体力づくり c 特別支援
- ③ a 協調 b 健康・体力づくり c 主権者
- ④ a 道徳 b 系統的なキャリア教育 c 社会
- ⑤ a 協調 b コミュニケーション能力育成 c 特別支援

問 12 次は、「第 2 次千葉市学校教育推進計画」(平成 28 年 3 月 千葉市／千葉市教育委員会) の「第 1 章 総論 1 3 『目指すべき子どもの姿』と『教育目標』の継承」に関するものである。次の (a) ～ (c) にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

- ① a 思いやり b 気づき c 行動
- ② a 情熱 b 考え c 実践
- ③ a 感謝 b 考え c 実践
- ④ a 思いやり b 考え c 行動
- ⑤ a 感謝 b 気づき c 決断

問 13 「OECD 生徒の学習到達度調査 2018 年調査 (PISA 2018) のポイント」
(令和元年 12 月 文部科学省・国立教育政策研究所) について、適当でないものを選びな
さい。

- ① 生徒の ICT の活用状況については、日本は、学校の授業での利用時間が短い。ま
た、学校外では多様な用途で利用しているものの、チャットやゲームに偏っている
傾向がある。
- ② 前回の 2015 年調査からコンピュータ使用型調査に移行した。
- ③ 数学的リテラシー及び科学的リテラシーは、引き続き世界トップレベルである。
- ④ 読解力の自由記述式の問題において、自分の考えを他者に伝わるように根拠を示
して説明することに、引き続き、課題がある。
- ⑤ 小学校課程修了段階の 12 歳児を対象に、2000 年から 3 年ごとに、読解力、数学的
リテラシー、科学的リテラシーの 3 分野で実施している。2018 年調査は読解力が
中心分野であった。

問 14 「学校・教育委員会等向け虐待対応の手引き」(令和元年 5 月 文部科学省) の「【基
礎編】 3. (1) 学校・教職員の役割、責務」に関する内容として、最も適当なものを選び
なさい。

- ① 学校が保護者から威圧的な要求や暴力の行使等を受ける可能性がある場合は、設
置者へ連絡することなく、学校と警察のみ情報共有をし、限られた者で対応を検討
することが重要である。
- ② 学校、教職員においては、虐待の早期発見・早期対応に努めるとともに、市町村 (虐
待対応担当課) や児童相談所等への通告や情報提供を速やかに行うことが求めら
れているが、虐待の確証がない場合は通告する義務はない。
- ③ 虐待の有無を調査・確認したりその解決に向けた対応方針の検討を行ったり、保護
者に指導・相談・支援したりするのは権限と専門性を有する児童相談所や市町村
(虐待対応担当課) である。
- ④ 保護者から情報元 (虐待を認知するに至った端緒や経緯) に関する開示の求めがあ
った場合は、情報元を保護者に伝え、児童相談所等と情報共有しながら対応する必
要がある。
- ⑤ 児童相談所や市町村 (虐待対応担当課) から虐待に係る子供又は保護者その他の関
係者に関する資料又は情報の提供を求められた場合、個人情報保護の観点から、学
校は一切提供することができない。

問 15 「『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」(平成 31 年 3 月 文部科学省)の「第 2 章 第 3 節 安全教育の進め方」に関する内容として、最も適当なものを選びなさい。

- ① 学校における安全教育は、体育科・保健体育科、技術・家庭科及び特別活動の時間においてのみ行うものである。
- ② 学校行事における安全に関する指導について、表面的、形式的な指導とともに具体的な場面を想定するなど適切に行うことが必要であるが、小学校においては、発達段階を考慮し、表面的、形式的な指導を行う。
- ③ 安全教育は、視聴覚教材や資料を活用するだけで十分に効果を高めることができる。
- ④ 安全教育は、学校教育全体を通じて計画的な指導が重要であり、そのためには、学校安全計画に適切かつ確実に位置付けるなど、全教職員が理解しておく必要がある。
- ⑤ 安全教育と安全管理は、密接に関連させて進めていく必要があるが、日常の指導では、学校生活の安全管理として把握した児童生徒等の安全に関して望ましくない行動は取り上げる必要はない。

問 16 次は、「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について(答申)」(平成 27 年 12 月 中央教育審議会)の「2. 『チームとしての学校』の在り方」の一部である。次の(a)～(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

「チームとしての学校」像

(a) のリーダーシップの下、カリキュラム、日々の教育活動、学校の資源が一体的にマネジメントされ、教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの (b) を生かして能力を発揮し、子供たちに必要な (c) を確実に身に付けさせることができる学校

- ① a 教育委員会 b 経験 c 知識・技能
- ② a 校長 b 専門性 c 資質・能力
- ③ a 学年主任 b 特性 c 知識・技能
- ④ a 校長 b 特性 c 資質・能力
- ⑤ a 教育委員会 b 専門性 c 学びに向かう力

問 17 「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要について」（令和元年 12 月 スポーツ庁）に関する内容として、最も適当なものを選びなさい。なお、文中の「児童生徒」とは小学校 5 年生及び中学校 2 年生を指し、「体力合計点」とは、各テスト項目に係る得点を合計した点数の平均値である。

- ① 児童生徒における体力合計点について、平成 20 年度の調査開始以降の推移をみると、令和元年度は小・中学生の男女ともに低下した。
- ② 平成 20 年度の調査開始以降の推移をみると、令和元年度は中学生男子の体力合計点が過去最低の数値であった。
- ③ 児童生徒のテレビ、DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等による映像の視聴時間と体力合計点の関係をみると、平日 1 日当たりの映像視聴時間と体力合計点に相関関係はなかった。
- ④ 児童生徒の朝食の摂取状況は、「毎日食べる」割合は小学生男女よりも中学生男女の方が高かった。
- ⑤ 児童生徒のテレビ、DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等による映像の視聴時間は、小・中学生ともに男子よりも女子の方が長時間となる傾向がみられた。

問 18 「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」（令和元年 10 月 文部科学省）に関する内容として、適当でないものを選びなさい。

- ① いじめが原因で不登校となっている場合等には、いじめられている児童生徒の緊急避難としての欠席が弾力的に認められてもよく、その後の学習に支障がないように配慮が求められる。そのほか、いじめられた児童生徒又はその保護者が希望する場合には、柔軟に学級替えや転校の措置を活用することが考えられる。
- ② 児童生徒の才能や能力に応じて、それぞれの可能性を伸ばせるよう、本人の希望を尊重した上で、場合によっては、教育支援センターや不登校特例校、ICTを活用した学習支援、フリースクール、中学校夜間学級での受入れなど、様々な関係機関等を活用し社会的自立への支援を行う。
- ③ 児童生徒によっては、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意する。
- ④ 保護者等から学習の遅れに対する不安により、進級時の補充指導や進級や卒業を保留するなどの措置をとるなど、適切に対応する必要がある。
- ⑤ 不登校の要因や背景を的確に把握するため、学級担任の視点のみならず、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカー等によるアセスメント（見立て）が有効である。

問 19 「SDGs」は、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた2016年から2030年までの国際社会共通の目標である。「SDGs」を英語で略さずに表記したものとして、最も適切なものを選びなさい。

- ① Sustainable Dynamics Grades
- ② Sustainable Development Goals
- ③ Social Development Grades
- ④ Social Design Goals
- ⑤ Social Dynamics Graphics

問 20 次の四字熟語の(a)～(d)にあてはまる漢字の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。

・過 (a) 評価	・心 (b) 一転	・責任転 (c)	・意 (d) 薄弱
-----------	-----------	----------	-----------

- ① a 小 b 気 c 果 d 志
- ② a 少 b 機 c 化 d 思
- ③ a 小 b 気 c 化 d 思
- ④ a 少 b 期 c 果 d 志
- ⑤ a 小 b 機 c 嫁 d 志

【正答】

(午前問題)

問題番号	正答
1	4
2	1
3	3
4	5
5	4
6	1
7	5
8	3
9	2
10	2
11	1
12	5
13	5
14	3
15	1
16	4
17	4
18	3
19	2
20	3

(午後問題)

問題番号	正答
1	3
2	4
3	2
4	5
5	5
6	1
7	1
8	3
9	1
10	2
11	2
12	4
13	5
14	3
15	4
16	2
17	1
18	4
19	2
20	5